社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2020年11月1日発行
第97号

民医連

発行　社会医療法人同仁会　同仁会報編集委員会　〒590-0821　堺市堺区大仙西町6丁184-2
TEL 072(244)7260　FAX 072(247)0165　URL http://www.mimihara.or.jp（同仁会HP）

無料低額診療事業が広がり〝いのち〟を救う！

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、倒産や失業、営業自粛など、様々な形で多くの生活困窮者が生まれています。同仁会の各事業所で取り組んでいる無料低額診療事業（社会福祉法に基づき、低所得者などに無料、または低額な料金によって診療を行う制度）の適応者が、昨年の3倍に増えています。

今こそ、暮らしや健康を守る社会保障の充実を！

安倍政権の7年8カ月間、アベノミクスによる経済政策のもとで、大企業と富裕層の利潤は膨大となる一方、公的医療サービスは縮小、政府の感染対策が後回しとなり、新型コロナウイルスの感染を拡大させました。多くの国民の生活実態との格差は、大きく広がっています。この格差の広がりは直接、「健康格差の広がり」となり、国民の受療権を奪っています。

安倍政権の継承を掲げる菅首相は、その反省に立つどころか、就任のあいさつで、目指す社会像として「自助・共助・公助」を重ねて掲げ、「まずは、自分でできることは自分でやってみる。そして、地域や家族で助け合う。その上で、政府がセーフティーネットで守る」と語りました。現在のコロナ禍で政府の最大の役割は、国や企業の責任において「憲法25条」に定められた国民の生活や健康を守ることです。「自助・共助」だけでは、国民の生活や健康は到底守ることはできません。

自治会の方への学習会

困難を抱えた患者さんに寄り添って

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、同仁会にも、「今年の3月から仕事の受注がまったくなくなった。医療費の支払いが困難になり、無低診療事業と国保44条の適応になった」「ボーナスのカットも含め、収入が激減、持病で入退院後まともに働けず。同居の家族も無職で、国保料が払えず無保険状態となり、生活保護を申請」「わずかな国民年金とパート収入で生計を立てているが、パート収入が激減し、無低診療事業の対応となった」などの困難事例が寄せられ、対応をしています。

NPO法人のつながりで、自治会での「無料低額診療説明会」

このような中で、無料低額診療事業を広く地域にお知らせし、医療の間口を広げる取り組みを行っています。NPO法人を訪問する中で、紹介いただいた団地の自治会長さんから、「ぜひ説明会を」との要請を受け、9月に同仁会と大阪みなみ医療福祉生協と共同で、自治会の役員と会員を対象とした「無低診療事業『紙芝居学習会』」を実施しました。当日は70人を超える参加者があり、「無低診療事業の説明を初めて聞いた」「申請の仕方は」など、多くの感想や質問が寄せられました。

「都構想」よりコロナ対策を！

このような情勢にもかかわらず大阪市では11月1日に大阪市を廃止し、4つの特別区設置のための「都構想」への住民投票が行われます。この「都構想」が可決されると、堺市をはじめとした周辺都市も、議会の可決だけで「都構想」に組み込まれることとなるため「対岸の火事」ではありません。「都構想」よりコロナ対策が優先です。

私たちは、国や自治体に社会保障の充実を求めるとともに、引き続き無差別平等の医療を貫いていきます。

シリーズ
みみはらの人 ⑩

みみはら十人十色

専門性を高めつつ、広い視野を持って仕事をしていきたい

シリーズ10回目は、福光恋さんです。今年、大学を卒業して同仁会の人事部に就職した期待の事務の新人さんです。

――コロナ禍の中で、学生生活や就職活動はどうでしたか？

就職活動には大きな影響はなかったのですが、卒業式が縮小されたり、卒業旅行がいけなかったりしたことが、残念でした。

――同仁会に就職しようと決めた理由は？

大学のゼミの先生の紹介です。大学の先輩にも「雰囲気がいいよ」と勧めてもらいました。

――現在、どんな仕事をしていますか？

主に新入職員の採用の実務をしています。コロナ禍の関係では雇用調整助成金の申請実務もしています。

――コロナ禍の中で、仕事をしていて困ったことはありますか？

来年度の新入職員の採用が難航しています。大学生の就職活動にコロナ禍は大きく影響していると思います。

――同期の人からコロナ禍の中で働くことについて何か聞いていますか？

研修やセミナーが中止されるなかで、なかなか同期で交流できず、「残念だ」とよく聞いています。

――この仕事をしていて良かったと感じることは？

私はコロナ禍の影響で、地域の方々との交流ができていませんが、友の会の活動などをみていると、耳原は地域で様々な活動をしていて、アットホームだと思います。

――今後の抱負などをお聞かせください。

基本を徹底して身につけ、自分の仕事に対して専門性を高めつつ、広い視野を持って仕事をしていきたいです。

――ありがとうございました。

大阪府出身。
趣味：旅行（今は無理ですが、海外にも行っていました）
ストレス解消法：ゲーム・SNSでチーズケーキのおいしいカフェを探して友人と出かけること。

福光（ふくみつ）　恋（れん）さん
社会医療法人同仁会
法人本部人事部

コロナ禍の中で就職した今年の新入職員は、就職式や研修も大幅に短縮して職場に配属されました。新人同士の交流も、職場の先輩とのコミュニケーションも、例年のようにとることはできません。医療の前線で頑張っている新人はもちろん、直接、医療現場に出ていない事務の新人も、これまでの新人が経験したことのない状況の中で頑張っています。未来の耳原を担う若者たちが、しっかり成長していけるように先輩職員がサポートしなければいけません。

同仁会報編集委員会